

農 業

科 目 名	単 位 数	学 年	学 科
野菜	2単位	1年	農・普科

教科書	野菜（実教出版）	副教材	なし
-----	----------	-----	----

科目の目標	1 野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を習得する。 2 野菜の特性や栽培に適した環境を理解する。 3 野菜の品質と生産性の向上を図る能力と態度を身に付ける。
-------	--

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		①知識・技能	②思考・判断・表現
1 学期	1 野菜生産の役割と動向 2 果実を利用する野菜の栽培 (1) トマト (2) メロン	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活や野菜の作付面積の推移などの具体的な事例を通して、野菜の生産と利用などを理解している。 ・野菜の栽培計画、栽培管理、栽培評価に関する基本的な知識と技術を身に付けている。 ・良い苗を育てるための生育環境条件や、効率的な管理方法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・果実を利用する野菜の栽培特性について、考察し、実習している。 ・葉や茎を利用する野菜の栽培特性について、考察し、実習している。 ・根を利用する野菜の栽培特性について、考察し、実習している。
2 学期	3 野菜の生育特性と栽培環境の調節技術 4 葉や茎を利用する野菜の栽培 (1) キャベツ (2) ホウレンソウ		
3 学期	5 野菜の育苗 (1) 育苗の目的と方法 (2) 育苗技術の実際と応用 6 根を利用する野菜の栽培 (1) ダイコン (2) ニンジン		
1 私たちが生きていく上で必要な栄養を含んでいる野菜について、どのように栽培管理をすれば品質のよい野菜ができるのか学び、栽培技術を身に付けていきましょう。 2 野菜の安全性や日本の野菜生産の動向に注目し、野菜の栽培について学んでいきましょう。 3 粘り強い取り組みを続け、学習内容をまとめ、発表し、相互に評価しましょう。			

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技能	生育と環境の調整及び栽培計画・管理等を身に付け、経営的的特性と栽培技術の仕組みを理解している。
②	思考・判断・表現	栽培管理の改善や品質と生産性の向上を図る能力を身に付けている。
③	主体的に学習に取り組む態度	栽培の仕組みや役割などに関心を持ち、その課題を科学的に解決する実践的な態度を身に付けている。
定期 考 査	1 学期中間・期末 2 学期中間・期末 学年末（計5回）	
評 価 方 法 （観点番号）	以下を総合的に評価する。 ①知識・技能（定期考査、ファイル、ノートの提出） ②思考・判断・表現（実習態度、定期考査、レポートの提出） ③主体的に学習に取り組む態度（実習態度、グループワーク）	